

本年度の重点目標

- ① 主体的に自分から進んで活動する子
- ② 友だちとの関わりを通してよりよい方法を考え、合意形成や自己決定する子
- ③ 健康・安全に気をつけて行動する子

(1) 確かな学力の向上

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力、表現力の育成。
- ② 目的意識と目標を持ち、自発的・意欲的に学ぶ態度の育成。
- ③ 学習規律「与那原小の3構え」〔聞く態度、姿勢、学習用具、活動のけじめ等〕の確立。
- ④ 文部科学省、沖縄県教育委員会、与那原町教育委員会から出されている資料の有効活用。
- ⑤ 指導方法・授業形態の工夫・改善（T・T、少人数指導、個別指導、補習指導の充実、『一事徹底』）ICT活用による「楽しい授業」「わかる授業」「個に応じた指導」「45分授業の保障」。
- ⑥ 言語活動の充実と言語環境の整備（各教科・領域での取組、教師の言葉遣い、正確な板書、掲示物）。
- ⑦ 各種テストの結果の分析による学習状況の把握と、その活用による授業改善、個々のきめ細かな指導。
- ⑧ 特別な支援を必要としている児童へのきめ細かい配慮の実施。
- ⑨ 事前・事後指導を含めた体験的な学習（社会体験・自然体験）の充実。
- ⑩ ALTやJETとの連携を密にした外国語科、外国語活動の充実と、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成。
- ⑪ 授業「1分前着席、チャイム黙想」の実践による集中力の向上。
- ⑫ 学校図書室の整備・充実、調べ学習及び読書活動の充実と、「学習情報センター」としての機能強化の推進。
- ⑬ 授業と連動し、意図的な宿題提示による基礎学力の定着、自発的に計画し実行する自学自習型家庭学習の習慣化
- ⑭ 学習支援員並びに学習支援ボランティア活用の促進による基礎学力の向上（ドリル学習、個別指導）。
- ⑮ 幼稚園の取組や中学校の取組を参観し、関連づけた学習指導の実践。
- ⑯ 1授業1ICT（タブレット）活用。
- ⑰ 一部を教科担任とした、深い教材研究に基づいた授業改善。

(2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」の時間を要とした道徳教育の充実と、道徳の授業を公開することによる家庭や地域社会への理解の推進。
- ② 平和教育、福祉教育の充実による平和の尊さ、人間の尊厳や生命を尊重する態度の育成。
- ③ 人権教育の充実による思いやりの心と実践力の育成（いじめの未然防止・早期発見・早期対応「いじめをしない・させない指導」）。『人権の日』の充実、「いじめティンクデー」を軸にした児童会活動の充実。
- ④ マナー（あいさつ、言葉遣い、公共物を大切にする態度）やルールを守る規範意識の育成。
- ⑤ 自発的・主体的活動（学校行事、当番活動、委員会活動）、勤労生産・奉仕活動を通した責任感やボランティア精神の育成。
- ⑥ 環境教育の充実（清掃の徹底『黙働清掃』、きれいな環境維持を維持するための指導、整理整頓、花いっぱい・緑いっぱいの学校、リサイクルの推進、掲示教育の充実）。
- ⑦ 読書の質を高める読書指導の充実（学年必読図書の設定、ファミリー読書の充実）。
- ⑧ 地域の自然、歴史、伝統文化を大切にする郷土の学習の充実。
- ⑨ 自ら考え、学校生活をうるおすための委員会活動の充実。
- ⑩ 児童が企画運営する学級会活動の充実。

(3) たくましい体の育成

- ① 基本的な生活習慣の育成（『凡事徹底』，生活リズムの確立）。
- ② 体力向上のためのすすんで体を動かす日常的な取組の実践（てくてく登校・縄跳び・行間休み等）。
- ③ 食に関する年間指導計画に基づく，栄養教諭や他機関と連携した食育指導の推進。（健全な食生活の実践）
- ④ 計画的な参加・体験・実践型の安全教育の充実による危険回避能力の育成（避難訓練，交通安全教室，非行防止教室・薬物乱用防止教育・携帯電話，SNS等の使用に関する安全教育）。
- ⑤ 危機管理マニュアルによる安全管理体制の確立と，安全点検（日常・定期・臨時）の実施，即時対応による安心・安全な環境整備の徹底。
- ⑥ 学校安全マップの見直しによる校外での安全確保。
- ⑦ 社会を生き抜くためのたくましい対処法を身につけるスキルの獲得。